yamada

Doc.No.	900184-03
発　行	60-12
改　訂	2004-3

取 扱 説 明 書

ボリュームバケットポンプ

MODEL No. 880132 (VO-8)

⚠ 警 告

安全のため、本製品のご使用の前には必ずこの取扱説明書を良く熟読し、記載されている重要警告事項を良く理解して下さい。また、本取扱説明書をいつでも使用できるよう大切に保管して下さい。

YAMADA CORPORATION

はじめに

本書は、お使いになる本機が故障なく充分に皆様のお役に立ちますことを念願として、正しい使用方法と使用上の注意について説明したものです。
この説明書を読む前に、本機の操作は行わないで下さい。
特に、注意事項を熟読されると共に、常に手元においてご活用下さい。
尚、ご使用中にご不明の点、不具合などがありましたら、お買い上げの販売店、又は、裏面記載の弊社営業所までご連絡下さい。
★ 取扱説明書、注意ラベル等を汚損、紛失した場合には、速やかにお買い上げの販売会社からご購入いただき保管・貼付して下さい。

目　　次

1．　使用目的……1
2．　危険・警告事項……2
2—1　警告・注意の定義……2
3．　使用上の注意事項……2
4．　各部の名称……3
4—1　梱包内容……3
5．　使用前の準備……3
6．　使用方法……4
7．　保守・点検……4
7—1　故障の点検とその対策……4
7—2　保守・点検……4
7—3　分解・組立……4
7—4　部品分解図・パーツリスト……5
8．　スペック……5
8—1　主要諸元……5
9．　保証規定……裏表紙

1．使用目的

本機は、レバー式手動ポンプでオイル用、特に粘着力の強い油脂を建設機械類などに給油するポンプです。
グリースには使用できません。
キャビネット内に多量のオイルを保有でき、コンプレッサーのない屋外等での給油作業に最適です。
また、給油口金は、ボタンヘッドタイプで迅速で確実な給油が行えます。

2．危険・警告事項

安全にご使用いただく為に

本機をご使用上安全にお使いいただく為に、下図の警告マークを付して注意事項を記載しております。人身事故、物的損害事故等起こす事の無い様に注意事項を絶対に守っていただく様お願い申し上げます。

⚠ 警 告　　⚠ 注 意

2－1 警告・注意の定義

⚠ 警 告

この取扱説明書では「警告」「注意」について次のような定義と警告表示を使用しています。
警告表示は安全作業のために重要な事柄です。
人身事故や物的損害防止のための重要な事項が記載されていますので、必ずよく理解してから使用して下さい。

⚠ **警告**：取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。

⚠ **注意**：取扱いを誤った場合に、使用者が障害を負う危険が想定される場合及び物的損害の発生が想定される場合。

※　ＮＯＴＥ：作業の効率化及び機器の保全がはかれる場合に記載しております。

3．使用上の注意事項

下記の警告・注意事項は大変重要ですので、必ず守って下さい。

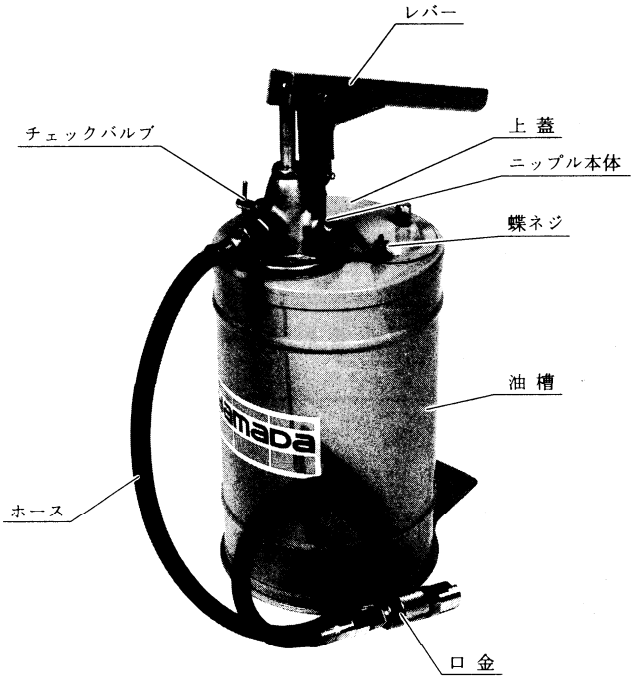
⚠ 警 告

- 使用するオイルの種類によっては、発ガン物質が含まれているものがあります。オイルメーカーの取扱注意事項をよく熟読し、注意して取り扱って下さい。
- ガソリンは高揮発性の燃料です。ポンプの洗浄などには絶対に使用しないでください。
  引火・爆発の恐れがあります。

⚠ 注 意

- 本機は、高粘度用のポンプです。ガソリン、軽油、灯油、その他溶剤などには使用できません。

4．各部の名称

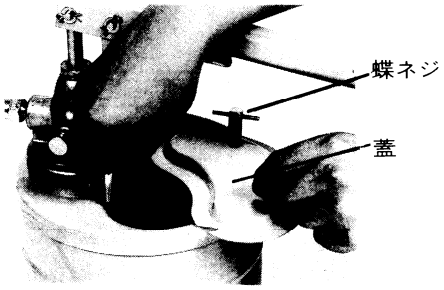


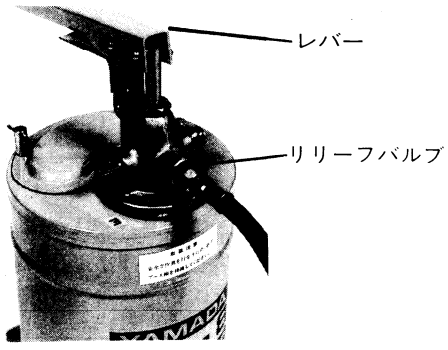
4−1 梱包内容

本機は、段ボールケースに主機器と付属品が別個に梱包されています。
段ボールケースの上部を開梱し、ポンプ組立・油槽等の損傷、並びに付属品の有無を確認して下さい。

5．使用前の準備

1) ポンプ組立のオイル吐出口に、付属の耐油ホースを取り付けます。
手で充分にねじ込み、ゆるまない様スパナ等で締め付けて下さい。
2) 油槽上面の蓋を止めている左右2個の蝶ネジをゆるめ、蓋を右方向にずらして下さい。(Fig 1)
3) 油槽内を清潔なウエスなどで拭いてから、ご使用のオイルを移し替えて下さい。
砂やゴミなどがオイルに入らない様、注意して下さい。
4) 蓋を元の位置に戻し、蓋の蝶ネジをねじ込み固定して下さい。
5) ポンプ右側にあるチェックバルブを締め、ハンドルを上下に操作して、ポンプ・ホース内のエアを排出させて下さい。
オイルが口金から吐出されるまで続けて下さい。





6．使用方法

1） 口金と給油する相手の注油口金を、清潔なウエスなどでよく拭いて下さい。
2） 注油口金に口金の溝を合わせ、スライドして確実にセットして下さい。
セットが不完全ですとオイルが漏れますので、注意して下さい。
3） チェックバルブを締めて下さい。チェックバルブがゆるんでいますと、圧力が上がりません。
4） 踏板を踏み油槽が動かない様にして、ハンドルを上下にゆっくりと操作し、給油を行って下さい。
5） 給油が終ったら、まずチェックバルブをゆるめてポンプ・ホース内部の圧力を抜いてから、口金を注油口金から外して下さい。

⚠ 注 意
チェックバルブをゆるめる前に口金を注油口金から外しますと、ポンプ・ホース内のオイルが吐出され、周囲を汚染させることがあります。

6） すべての箇所の給油が終了したら、チェックバルブをゆるめてポンプ・ホース内部の圧力を抜き、口金は汚さない様にして口金掛け（ニップル本体）にかけておいて下さい。

7．保 守・点 検

7−1 故障の点検とその対策

状　　況	原　　因	点検内容及び対策
ハンドルを操作しても オイルが出ない	・ オイルが空になっていないか	→ 点検・補充
オイルは出るが圧力・ 流量が不足	・ バルブにゴミのつまり ・ プランジャーパッキンの摩耗	→ バルブの点検・清掃 → 点検・交換

7−2 保守・点検

※ ホースは消耗品です。定期的に点検し、キズ・漏れなどがある場合は早めに交換して下さい。
ポンプのパッキン類は、摩耗します。定期的に点検・交換が必要です。

7−3 分解・組立

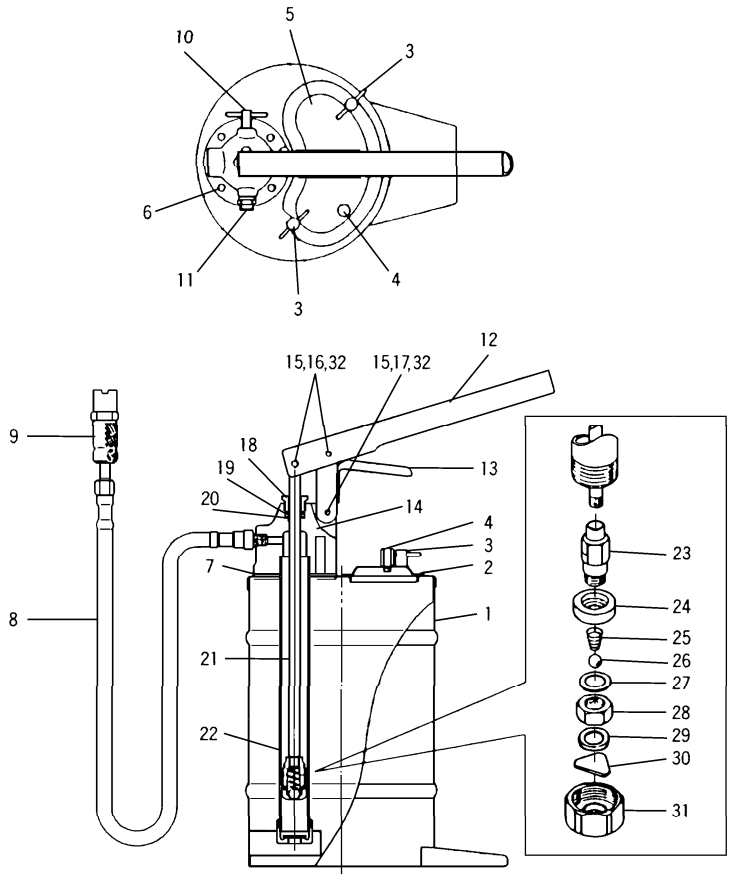
⚠ 警 告
● ガソリンは高揮発性の燃料です。ポンプの洗浄などには絶対に使用しないでください。 引火・爆発の恐れがあります。

［サクション部の分解・点検］

1） 耐油ホースをねじ戻しポンプ本体から取り外して下さい。
2） 油槽にポンプ本体を固定している４本の丸小ネジをねじ戻し外し、ポンプ組立を油槽から取り出して下さい。
3） 本体部をバイスに固定して下さい。
4） サクションチューブにパイプレンチをかけねじ戻しはずしますと、本体と分離できます。
5） サクショチューブをバイスに固定し、バルブアダプタにパイプレンチをかけねじ戻し外しますと、バルブが取り出せます。
6） 次にロットをバイスに固定し、ボールシートにスパナをかけねじ戻し外しますと、腕型パッキン、ボール、スプリングなどが取り出せます。各部品を洗浄・点検してキズ、摩耗などがあれば新品と交換して下さい。
特にバルブ・ボールなどのシート面は、注意して点検して下さい。
7） 点検・交換後部品の向きに注意して元の通りに組み立てて下さい。
組立は、分解手順の逆の順序で行って下さい。

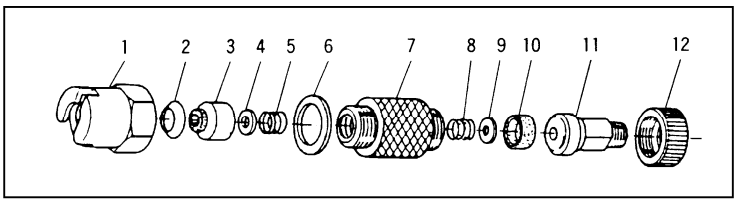
7−4　部品構成図・パーツリスト

880132　ＶＯ－８



NO.	部品番号	部　品　名　称	員 数
1	830261	油槽組立	1
2	770324	パッキン	1
3	610619	蝶ボルト	2
4	703146	ツマミ	1
5	703147	蓋	1
6	602300	ナベコネジ	4
7	770325	パッキン	1
8	695056	耐油ホース	1
9	800772	ボタンヘッド口金	1
10	830139	チェックバルブ	1
11	703148	ニップル本体	1
12	703149	レバー	1
13	830264	レバー支え組立	1
14	703159	本体	1
15	680608	スナップピン	3
16	703574	ピン	2
17	703580	ピン	1
18	580994	グランド	1
19	701755	座金	1
20	770333	パッキン	2
21	707207	ロッド	1
22	704833	サクションチューブ	1
23	703153	プランジャー	1
24	770326	椀型パッキン	1
25	703152	スプリング	1
26	630321	ボール	1
27	703154	座金	1
28	703155	ボールシート	1
29	704835	座金	1
30	703158	バルブ	1
31	704834	バルブアダプタ	1
32	631012	平座金	3

800772 ボタンヘッド口金



NO.	部品番号	部　品　名　称	員 数
1	703469	口金	1
2	703000	座金	1
3	770311	パッキン	1
4	703001	座金	1
5	703002	スプリング	1
6	772676	パッキン	1
7	830352	バルブアダプタ	1
8	703006	スプリング	1
9	703007	座金	1
10	770312	椀型パッキン	1
11	703470	ユニオン	1
12	703008	袋ナット	1

8．スペック

8−1 仕　様

製品番号	型　　式	容　　量	全　　高	質　　量	付　　属　　品
880132	VO-8	8 L	477 mm	5.0 kg	695056　耐油ホース（1 m）…… 1 800772　ボタンヘッド口金 …… 1

［ポンプ性能］

ポ　ン　プ	吐出量 ※	吐出圧力 ※
850348	20 cc/ストローク	2 MPa

※印は、使用オイル：マシン油#160、油温20℃、付属品のホース、口金を使用した時の参考値である。

■ MEMO

お　願　い

この度は、弊社製品をご購入いただき誠にありがとうございます。
弊社では、お納めした製品のアフターサービスの徹底のため「**ご愛用者登録**」による保証制度を採用しております。
お手数をおかけいたしますが、添付の「**製品保証登録カード**」に必要事項をご記入の上、弊社宛にご返送下さい。
弊社にて受領後登録の上、下記記載の保証を履行させていただきます。
尚、ご返送がない場合及び記入事項に洩れ等がある場合には保証期間中でも保証の対象となりませんので必ずご返送下さい。又、本制度は日本国内においてのみ有効です。

9．保証規定

1．**保証期間**：製品を納入申し上げた日より起算して12ケ月間といたします。
2．**保証内容**：保証期間中に、本機を構成する純正部品の材料、もしくは製造上の欠陥が表われ、弊社がこれを認めた場合、修復費用は全額負担いたします。
3．**適用除外**：保証期間中であっても、下記の場合には適用いたしません。
（1）純正部品以外の部品を使用された場合に発生した故障。
（2）使用・取扱上の過失による故障、保管・保安上の手入れ不十分が原因による故障。
（3）製品の構成部品を腐食・膨潤、又は溶解する様な液体を使用されて生じた故障。
（4）弊社、又は弊社の販売店・指定サービス店以外の手によって修理がなされた場合。
（5）製品に弊社以外の手によって改造・変更が加えられ、これが原因で発生した故障。
（6）パッキン、O－リング、ボール、バルブシートなどの消耗部品の摩耗。
（7）お買上後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷。
（8）火災、地震、水害、及びその他天災、地変などの不可抗力による故障及び損傷。
（9）異物の混入したオイルを使用して発生した故障。
(10) 過度に摩耗性を有する材料や、本機に不適当な油脂を使用された場合の故障。
(11) 日本国外においてご使用の場合。
尚、本製品及びその付属品に使用されているゴム部品等、あらゆる自然損耗する部品並びに消耗部品については、保証の適用から除外させていただきます。
4．**補修部品**：補修用部品の最低保有期間は、製造打ち切り後５年とさせていただきます。製造打ち切り後５年を経過したものにつきましては、供給いたしかねる場合もございますので、何卒ご了承下さい。

（控）

型　　式	
製 造 番 号	

ご購入年月日	
ご購入の販売店	

製品に対するお問合せは、下記営業所にお願いいたします。

株式会社ヤマダコーポレーション

本社・営業部　〒143 東京都大田区南馬込１丁目１番３号　TEL(03)3777－4101㈹
FAX(03)3777－3328
札幌営業所　〒062 札幌市豊平区美園二条６丁目３番16号　TEL(011)821－0630㈹
仙台営業所　〒983 仙台市宮城野区扇町２丁目２番44号　TEL(022)232－4743㈹
東京営業所　〒143 東京都大田区南馬込１丁目１番３号　TEL(03)3777－3171㈹
名古屋営業所　〒463 名古屋市守山区小幡宮ノ腰7番38号　TEL(052)795－0222㈹
大阪営業所　〒537 大阪市東成区中道３丁目15番２号　TEL(06) 971－5301㈹
広島営業所　〒733 広島市西区商工センター5丁目3番5号　TEL(082)278－5341㈹
福岡営業所　〒816 福岡市博多区板付５丁目18番14号　TEL(092)581－5477㈹

相模原工場　〒229-11 神奈川県相模原市宮下１丁目２番38号

＊本製品の仕様は予告なしに変更することがありますのでご了承下さい。